

グレゴリー・セドフ

ロシア国家芸術文化発展功労賞 受賞音楽家



カルコフ音楽院(ウクライナ)およびサンクト・ペテルブルグ国立音楽院修了。

1995年、アメリカの著名なヴァイオリン製作者C. M. ハッチンスによるピッコロ(トレブル)・ヴァイオリンに出会い、以来、この新しいアイデア、サウンドの楽器に魅せられ、世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者として活躍する。

サンクト・ペテルブルグ・ハッチンス・オクテットのソリストとして、1998年にリリースされた「サンクト・ペテルブルグ・ハッチンス・オクテット」のCDは、この年のグラミー賞ベストクラシックレコーディング部門、ベストクラシック室内楽演奏部門、ベストクラシック録音技術部門の3部門において、セミファイナルを受賞した。このユニークな楽器のために多くの作品の編曲を行い、中でもバッハの全無伴奏チェロ組曲のトランスクリプションはサンクト・ペテルブルグで出版およびCD録音されている。

サンクトペテルブルグで開催された国際コンペティション「VIVA TALENT」では、ヴァイオリンとピッコロ・ヴァイオリンの演奏で優勝。また、生徒も優勝したことで、“コンクールに出場する生徒を指導する優秀教師”のディプロマを得ている。同コンペティション、マルチメディア部門でも、ピッコロ・ヴァイオリンの演奏に、自ら曲のイメージを映像化した作品も1位を受賞、同様にウイーン、パリのコンペティション、マルチメディア部門でも1位を受賞。2016年には、東北大震災及び福島原発事故後5年を機に、「福島のために祈る」をテーマに日本の曲を演奏し、映像を制作したDVD作品が再度オーストリアの国際コンペティション、マルチメディア部門で優勝。2017年3月には、この作品を使った福島復興祈念イベントをサンクトペテルブルグで開催。多くのロシア人の共感を得た。

音楽鑑賞教育プログラム開発にも積極的に関わり、ユニークなスクールワークショップにも力を入れている。

これまでレニングラード・コンサート・オーケストラの首席奏者、マリンスキー歌劇場オーケストラメンバー等を歴任。ユーリー・テミルカノフの信認篤く、彼とともに、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団に移籍。第一ヴァイオリン奏者。1994年よりサンクトペテルブルグ国立音楽院室内音楽科で教鞭をとり、伝統的なロシア奏法だけでなく、ザハール・ブロン等偉大な音楽家から受けた影響も後進に伝えている。

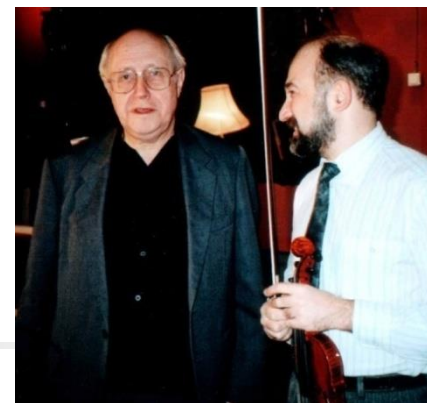
2010年銀座ヤマハホールでのリサイタルには、皇后陛下美智子様をご鑑賞下さった。

2011年東京国際大学特命教授に就任。2012、NHKBS1「エル・ムンド」WOWOW ザ・プライムショーに出演。

2013年日本ツアーでは、次世代演奏家プロジェクトを開催。後進のピッコロヴァイオリン奏者を指導、オーケストラとの共演で指揮者デビューを果たした。



引用



■世界の巨匠たちが絶賛！！

「彼のピッコロ・ヴァイオリンの活動は、世界の音楽芸術分野に多大な貢献をもたらすだろう。」

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団首席指揮者 ユーリ・テミルカーノフ

「グレゴリー・セドフの才能とエネルギーが、このチャーミングな楽器のコンサートライブを可能にした。」

ロイヤル・コンサートヘボ管弦楽団首席指揮者 マリス・ヤンソンス

「彼は最小のヴァイオリンを弾く偉大な芸術家だ」 M. ロストロポーヴィチ(チェリスト、指揮者)

「ピッコロ・ヴァイオリン演奏家、グレゴリー・セドフ氏と知り合ったとき、「キワもの」を扱う異色演奏家というイメージを持っていた私は、その後、彼と共演した際に、彼の「本物の音と音楽」に触れ、自分自身の第一印象を大いに恥じた。彼は、「ノーマル・ヴァイオリン」でも一流の演奏家であり、ピッコロ・ヴァイオリンは、その器の大きな表現力のひとつのツールにすぎない。」 東京芸術大学学長 ヴァイオリニスト澤和樹

■日本のスーパーレディーも魅せられた！！！！

「音楽もすばらしいけれど、人柄、人物もすばらしく、彼の人間哲学にすっかり共鳴しました。一流の人物だからあれだけのすばらしい音楽を奏でられるのでしょうか。」 ジャーナリスト 下村満子

「グレゴリー・セドフさんのピッコロ・ヴァイオリンの音色に聴き惚れました。」

音楽評論家・作詞家 湯川れい子

グレゴリー・セドフ ホームページ <http://grigorysedukh.narod.ru/index-violin-piccolo.html>

ピッコロ・バイオリン研究会 <http://piccoloviolin.cocolog-nifty.com/blog/>

★スクールワークショップ： 小学校4年生、5年生の感想文より★

- 「ピッコロ・バイオリンの演奏を聞いていたら、ものすごくきれいな音で、何もかも忘れてしまいました。気がついたら、2曲演奏が終わっていました。」
- 「グレゴリーさんのピッコロ・バイオリンの演奏を聞いて、一番最初にひいてくれた「ピーターと狼」からすごく音がきれいで感動しました。グレゴリーさんがひいてくれたピッコロ・バイオリンの音色は大人になるまで、わすれません。わたしは、ピッコロ・バイオリンがこんなにきれいな音で心がきれいになる楽器だとは知りませんでした。本当にありがとうございました。」
- 「ピッコロ・バイオリンの演奏、すごく音色がきれいで、すごく感動して、ちょっと泣きそうになりました。グレゴリー・セドフさんとピッコロ・バイオリンは親友なんですか？ひいてて、すごい楽しそうでした。聞いているほうも楽しくなりました。」
- 「ぼくは、その時間、バイオリニストになろうかと思いました。」
- 「さすがにバイオリンとちがってとても高くて心がおちつくねいろだなとぼくは思いました。ピッコロ・バイオリンをひくのはとてもむずかしいとききますが、できたとしても手が細くなきゃだめだと思いました。でもあくしゅした時、手がとてもぶあつくて、指もとてもぶあつい手をみると、とても信じられないなと思いました。」
- 「これからもたくさんの人にピッコロ・バイオリンの美しさを届けて下さい。」
- 「わたしは、ピッコロ・バイオリンを見たり聞いたりするのは初めてだったので、大こうふんでした！さらにセドフさんの演奏を聞いて、きれいな音すぎて、かわいい音すぎて、もうとってもすごかったです。もっと、セドフさんのピッコロ・バイオリンを聞いていたかったです。」